

令和2年4月9日

保護者の皆様

香港日本人学校香港校

休校期間中の Web 学習システムについて（お願い）

陽春の候、保護者の皆様におかれましてはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は本校の教育活動にご協力いただき感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大により、休校措置が続いており、開校の見通しもまだ立っておりません。そこで休校中ではありますが、香港日本人学校では4月21日より Web 上の学習システムを通して子どもたちの学習をサポートしていくことといたしました。学校も初めての試みであり、使いながらよりよいものにしていきたいと考えています。まずは、始めるにあたり運用規定を下記のように策定いたしました。よくお読みいただき、ご理解いただきますようお願いいたします。

この学習を成立させるには、保護者の皆様の多大なるご協力が必要不可欠となります。お忙しい中とは存じますが、休校中の子どもたちの学習を止めず、学びを続けられるよう、何卒よろしくお願いいたします。

記

1 保護者の皆様へお願い

Web 学習を始める前に、児童生徒にオンライン上の「学習のやくそく」を配布します。これを親子でよくお読みいただき、お子様がスムーズに学習を始めることができるようご協力をお願いします。また、保護者の皆様には以下の5点について、ご理解とご協力をお願いします。

- ① Web 学習システムのセットアップと運用の開始時期は、特に保護者の方のサポートをよろしくお願いします。セットアップの方法などは登録アカウントに配信します。困ったときには、本校の IT 担当職員がサポートいたしますのでご連絡ください。
- ② お子様がインターネットにアクセスして学習している際は、可能であれば同じ部屋の中にいていただき、適切に利用できているかご指導していただきますようお願いいたします。また、慣れないうちは特に技術的に困ったときに手助けできるようにしてください。
- ③ Web 学習システムは児童生徒向けです。保護者の方から質問がある場合は学校に直接お問い合わせください。
- ④ Web 学習システムからのビデオ、コンテンツを外部に共有することはお慎みください。また、画面に映っている他の児童生徒の顔を撮影することはおやめください。
- ⑤ Web 学習システムの Live 配信を使つてのコミュニケーション時に保護者が参加するのは差し控えてください。

2 Web 学習システム運用規定について

裏面運用規定と別紙「休校期間中の Web 上システムを使った学習についての承諾書」をよくお読みいただきサインをお願いします。承諾をしていただいたのち、保護者の皆様のメールアドレスに、必要なアカウントなどを送付いたします。

Web 上システムを使った学習運用規定

第1 目的

学校からの課題の配信、提出などのやりとりを今までよりもスムーズに行うとともに、児童生徒と教

師の一方通行で1対1のやりとりだけではなく、学級の児童生徒と教師、双方向のコミュニケーションを可能にする。また、リアルタイムでのコミュニケーションを取り入れた学習を行う。これらを通して、児童生徒の一日の生活リズムを整えるとともに、クラスメートとの交流も取り入れ、学習に対する興味関心を高めていく。また、友人や教職員、学校とつながりをもつことで、休校という困難に立ち向かう児童生徒を支援していく。

第2 管理運用に関する基本規程

1 期間

2020年4月21日より、新型コロナウイルス感染症の拡大による休校終了まで
(その他、臨時休校等が継続する場合において管理責任者が指定した期間)

2 名称

Web上システムを使った学習に関するシステムを「オンライン授業」とする

3 運用管理体制

学校においてWeb上システムを使った学習に関するシステム(以後、オンライン授業)を利用するにあたっては、本運用規定の趣旨に則った適切な運用管理を図る。

第3 Web学習システム利用に関する基本規則

1 利用の範囲

Web学習システムは、次の各号に掲げる事項について利用できるものとする。

(1) 児童生徒の学習

- ①児童生徒、教師双方向のリアルタイムでのコミュニケーションを取り入れた学習
- ②課題の配信、提出
- ③提出された課題の共有

2 情報モラル

教職員、児童生徒、保護者は、Web学習システムの趣旨に則り、モラルを守って利用する。

3 個人情報公開の原則

Web学習システム上の教育活動についても、「刊行物などの写真掲載承諾書」に則って行う。

第4章 使用するソフトウェアアプリケーション

1 G suite for education と Zoom、ロイロノートを使用する。

2 各ソフトウェアの授業での使い方

(1) G suite for education

- ①Google drive 資料等の保存
- ②G mail 学校からのお便りの配信

(2) Zoom

児童生徒、教師双方向のリアルタイムでのコミュニケーションを取り入れた学習
(学級、学年単位)

(3) ロイロノート

課題の配信・提出

第5章 家庭との協力

この学習は家庭の協力の下に成り立つことから、しっかりと家庭の協力を依頼する。